

記入日 2022 年 11 月 27 日

一般社団法人日本薬学生連盟 2023 年度執行部立候補申請書

立候補者氏名	余語佑月
立候補する役職	外務統括理事
大学/学部/学科	名城大学薬学部薬学科
学年	1 年
所属	外務部/広報部/公衆衛生委員会
日本薬学生連盟での活動経歴	2022 年 4 月 日本薬学生連盟入会 外務部所属 2022 年 5 月 広報部所属 2022 年 6 月 公衆衛生委員会所属
立候補動機	私は今年の 4 月に外務部に所属して以来、様々な活動に参加するなかで、この団体で活動する楽しさを知りました。また、目標をもち、成し遂げようと努力する会員の皆さんからたくさんの刺激をいただき、私自身大きく成長できたと感じています。これからも日本薬学生連盟が素敵な出会いと多くの学びの機会であふれる団体であり続けるように、次年度は私が外務統括として、部員とともにたくさんの「やってみたい」を実現し、日本薬学生連盟に貢献したいと思い、立候補いたしました。
問題点と改善案	【問題点①】 外部の方とのイベントを行っても参加者が少なく、外務部のもつ繋がりを十分に会員に還元できていないと感じる。 【改善案】 参加者が少ないことの原因として、 ・イベント参加へのハードルが高いこと ・会員のニーズに合っていない ・他学部の人と繋がりを持つことのメリットが伝わっていない などが考えられる。 そこで、部署内で行ってきた他団体との交流会を団体全体での企画にし、会員がより気軽に他学部の学生と交流できるようにする。 また、プロモーション部が行っている企画後のアンケート調査を参考に、より会員のニーズに合ったイベントを行う。 加えて、広報の際に、以前に行われた同様の交流会・イベントの参加者の感想を載せることで、他学部の人と繋がりをもつ魅力を伝えられると考える。 【問題点②】 HP には、日本薬学生連盟の行っている活動として「薬学部を目指す受験生の相談窓口となる活動を行う」とあるが、現在は行われていない。そして、この活動を行うべきなのは外務部であると考えた。 【改善案】 定期的な受験生(高校生)の質問に答える相談会をオンラインで実施し、受験生のサポートを行う。加えて、高校に上記相談会の案内と弊団体の団体冊子を設置させていただく。 大学入学前に弊団体を知ってもらうことで、弊団体の知名度向上・新規会員獲得に繋がる。
活動計画	4, 5 月 関係者挨拶、部員との面談 6 月 部内交流会 10 月 他団体とのコラボイベント、外部講師をお呼びしたイベント等開催 3 月 年会 (通年)メール管理・添削、対外対応、他団体イベントへの参加、部内勉強会・交流会

所信

皆さんにとって日本薬学生連盟はどんな存在ですか。

私は 4 月に団体に所属してから、様々な活動に参加し、多くの成長の機会をいただきました。特に外務部では、イベントのスタッフとして他団体の方と交流したり、社会人の方と面会したりと、初めてのことに挑戦するなかで大きく成長できたと感じています。そして次第に、外務統括として部員とともにさらにたくさんの方に挑戦したいと思うようになりました。

外務部では、対外のスキルはもちろん、揺るがない自信も身につけられるように、企画や勉強会などの機会を作りたいです。人は自分自身でやりたいことを考え、準備をし、成功させることができたときに最も自信がつくと考えています。そのため、統括として部員一人一人と向き合い、やりたいことを見つけるサポートをしたいです。また、外務部員にとって外務部が安心して挑戦できる場所であるように、部員同士の仲を深められるような部内勉強会・交流会を行います。

また本部の一員として、会員が増えるきっかけとなる取り組みを行いたいと考えています。弊団体ではここ数年で、委員会や支部の活動停止など、会員数の減少に伴う活動の縮小が進んでいます。このままでは、さらに規模が小さくなってしまわないかと懸念しています。

日本薬学生連盟には、他団体や海外の方、OBOG など多くの繋がりがあります。あなたがなにかに挑戦したいと思った時に、支えてくれる仲間と環境があります。この素晴らしい環境を残していくためにも、多くの方に弊団体の活動を知って頂き、共に会員として活動したいです。

そこで、会員数増加への取り組みとして、私は高校生への働きかけを行いたいと考えています。高校への団体冊子の設置や、高校生からの薬学部に関する質問に答える相談会の開催を外務部として行いたいです。私自身、薬学部への進路を考えた際に、薬学生の生活がどのようなものなのかを知りたくて、薬学部に進学した先輩に話を聞いたり、ネットで薬学生の声を調べたりしました。必ずこの活動を必要としている高校生がいるはずで、そして、高校生のときから弊団体の存在を知って貰えたなら、会員の増加にも繋がると考えています。

ほかにも、大学生への働きかけとして、薬学部のある大学に確実に学生の目に留まる学内メールで弊団体の広報を行っていただけないか交渉したいと考えています。

私にとって日本薬学生連盟は、普段の生活では出会えない人と出会える場所であり、なにか挑戦しようと思った時には一歩踏み出す勇気を与えてくれる存在です。

これからも日本薬学生連盟が、私たち薬学生にとってのプラットフォームであり続け、築き上げた繋がりのもとに多くのかけがえのない出会いが生まれるように、外務統括理事としてみなさんの1年をさらに充実したものにする一助となるべく、努力し続けていくことを誓います。